This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

				and the second s			
		3 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)		es e		• 1	
					and the same		
					•		
			•		•		
*		* · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
	•						
				en e			- 4
							•• •• •
9. 					 •		
: " }- 		•					- P. P. S.
1 2 4 *8							
							, in
	*						
	•						
		•					:
							<i>(1)</i>
į.							
k E							
				:			
5 () 5 () 7 ()							
				:			
ji Li							
25							
	•						
1					•		

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

2001-158312

(43) Date of publication of application: 12.06.2001

(51)Int.CI.

B60R 19/24

(21)Application number: 11-342938 (71)Applicant: MAZDA

MOTOR

CORP

(22) Date of filing:

02.12.1999 (72)Inventor:

TERADA

SAKAE

ANDO SEIICHI

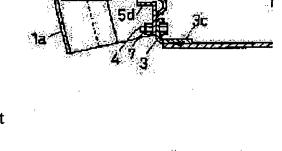
(54) END BODY STRUCTURE OF VEHICLE

1a

(57) Abstract: PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an end body structure of a vehicle provided with a cylindrical shock absorbing member supported by a vehicle body and a bumper strength member extending in the cross direction of the vehicle such that an engaging section provided in the bumper strength

member is brought

into engagement





6 - エネルギ吸収パイプ 6a - ボ曲パ野 8 - ほ合形

with the outer end of the shock absorbing member during a collision, thus allowing effective use of the shock absorption

stroke of the shock absorbing member to its maximum, and preventing the shock absorbing member from being affected by the distortion of the end of the bumper strength member, so that a stable shock absorption characteristic can be secured.

SOLUTION: The end body structure of the vehicle has at the front or rear of the vehicle the bumper strength member 1 extending in the cross direction of the vehicle. The cylindrical shock absorbing member 6 is provided which projects outwardly in the longitudinal direction of the vehicle. The inwardly folding section 6a of the shock absorbing member 6 along the longitudinal direction of the vehicle is supported against the vehicle body 2 and the curved bumper strength member 1 is provided outward of the shock absorbing member 6 along the longitudinal direction of the vehicle. The bumper strength member 1 is provided with the engaging section 8 which is brought into engagement with the outer end of the shock absorbing member 6 in a collision causing displacement of the bumper strength member 1 in the longitudinal direction of the vehicle.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection] [Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

Japan Pat nt Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely. 2.*** shows the word which can not be translated. 3.In the drawings, any words are not translated.

CLAIMS

[Claim 1] It is the edge car body structure of vehicles which equipped anterior part or a posterior part of vehicles with a bumper load member prolonged in the cross direction. Prepare a tubed impact-absorbing member which projects in a way side outside a vehicles cross direction, and the way side folding section is supported into the body among vehicles cross directions of this impact-absorbing member. An edge car body structure of vehicles with which a bumper load member of a letter of a curve was prepared in a way outside a vehicles cross direction of the above-mentioned impact-absorbing member, and the engagement section which engages with a heel of the above-mentioned impact-absorbing member was prepared in the above-mentioned bumper load member at the time of a collision which this bumper load member displaces to a vehicles cross direction.

[Claim 2] An edge car body structure of vehicles according to claim 1 supported by heel of a side frame where the above-mentioned impact-absorbing member is prolonged in a vehicles cross direction.

[Claim 3] An edge car body structure of vehicles according to claim 1 with which bumper stay which attaches the above-mentioned bumper load member in the body was prepared, and a fitting location to the body of a bumper load member by this bumper stay and a heel of the above-mentioned impact-absorbing member set the above-mentioned engagement section and a location which counters as abbreviation homotopic of the cross direction.

[Claim 4] An edge car body structure of vehicles according to claim 3 with which a joint joined to the above-mentioned bumper load member was prepared for vertical Ryobe of bumper stay which supports the above-mentioned impact-absorbing member.

[Translation done.]

	(*)	Anger Commence	•	
g to standard to the second of				
		-		
			e e e e e e e e e e e e e e e e e e e	
				- 1
				-
	•			

(19)日本国物許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(II)特許出銀公開發号 特開2001-158312 (P2001-158312A)

(43)公開日 平成13年6月12日(2001.6.12)

(51) Int.CL'

裁別記号

F I

ラーマコード(参考)

B60R 19/24

B60R 19/24

G

審査請求 未請求 語求項の数4 OL (全 7 頁)

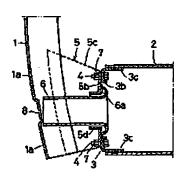
(2!)出職番号	特顧平!1−342938	(71)出版人	000003137
(22)出题日	平成11年12月2日(1999, 12.2)	(72)発明者	広島県安芸都府中町新地3番1号
•		(14/267FA	広島県安芸都市中町新地3番1号 マツダ 株式会社内
		(72) 発明者	安藤 武一 広島県安装郡府中町新地3番1号 マッタ
			株式会社内
		(74)代键人	100987747
			弁理士 永田 良昭

(54) 【発明の名称】 中間の路部車体構造

(57)【要約】

【課題】宣体に支持された個状の衝撃吸収部材と、宣幅方向に延びるバンパ強度部村とを設け、このバンパ強度部村に設けた係合部が衝突時に衝撃吸収部材の外端部と係合するように構成することで、筒状の衝撃吸収部材の筒撃吸収ストロークを最大限に有効利用することができるのは勿論、この衝撃吸収部材がバンパ強度部村端部側の博りの影響を受けることがなく、安定した衝撃吸収等性を確保することができる車両の過部車体構造の提供を目的とする。

【解決手段】車両の前部または後部に車幅方向に延びるバンパ強度部针1を備えた車両の蟾部車体構造であって、車両前後方向の外方側に突出する腐状の管壁吸収部材6を設け、設廣整吸収部村6の車両前後方向の内方側折曲げ部6 a を車体2に支持し、上記廣整吸収部村6の車両前後方向の外方に湾曲状のバンパ強度部材1を設け、上記バンパ強度部材1には該バンパ強度部材1が車両前後方向に変位する管突時、上記順整吸収部村6の外蟾部と係合する係合部8が設けられたことを特徴とする。



1~ パンパルインフォースメント 6~ エルルギ 吸状パイプ 2~ フロントサイドフルーム 6a ** 前当中部 5~ アンパステー 8~ ほ合部

5c…油合部

【特許請求の範囲】

【請求項1】車両の前部または後部に車幅方向に延びる バンパ強度部村を備えた車両の端部車体構造であって、 車両前後方向の外方側に突出する筒状の衝撃吸収部材を 設け、該筒撃吸収部材の車両前後方向の内方側折曲け部 を車体に支持し、上記筒郵吸収部材の車両前後方向の外 方に湾曲状のバンパ強度部村を設け、上記バンパ強度部 材には該バンパ強度部材が車両前後方向に変位する衝突 時、上記筒撃吸収部材の外端部と係合する係合部が設け ちれた車両の端部車体構造。

【語求項2】上記倫整吸収部材が卓両前後方向に延びる サイドフレームの外機部に支持された語求項1記載の卓 両の端部卓体構造。

【諸求項3】上記バンバ強度部材を車体に取付けるバンバステーを設け、該バンバステーによるバンバ強度部材の車体に対する取付け位置と、上記順越吸収部村の外場部が上記係台部と対向する位置とを、車幅方向の略同位置に設定した諸求項1記載の車両の備部車体構造。

[註求項4]上記答확吸収部材を支持するバンバステーの上下両部には上記バンバ発度部材に接合される接合部 20 が設けられた語求項3記載の草両の端部草体構造。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】この発明は、 車両の前部また は後部に車幅方向に延びるバンパ強度部材を備えたよう な車両の総部車体構造に関する。

[0002]

【従来の技術】従来、上述例の草両の端部草体構造としては、例えば西独公開特許第3711692号に記載の構造がある。すなわち、図10(衝突満重入力時の状態を示す)および図11(ノーマル時の状態を示す)に示すように、平面から見て中央部が草両前後方向の前方へ突出するように湾曲したフロントバンパのバンパレインフォースメント91を設ける一方、草両側にはフロントサイドフレーム92、92を設け、上述のフロントサイドフレーム92、92にエンドブラケット93、93を介してパイプ状のエネルギ吸収部材94、94を取付け、バンパレインフォースメント91の背面側に固定したブラケット95、95と上述のエネルギ吸収部材94、94の先端側とを、ボルト96、96を用いてピン結合したものである。とのピン結合により上記バンパレインフォースメント91の筒突時における回転方向の勤きを許容するものである。

【00003】との従来構造によれば、上述のブラケット 95と該エネルギ吸収部村94の先端側とが鉛直軸図り で回転可能となるようにピン結合されており、車両の筒 突時には上述のバイブ状のエネルギ吸収部材94が図1 0に示すように塑性カーリング変形しながら、潰れて、 筒突エネルギを吸収することができ、このエネルギ吸収 部村94による衝撃吸収ストロークを最大限に有効利用 することができる利点がある反面、次のような問題点が あった。

【1004】すなわち、上途のピン結合構造による構成の複雑化に起因してコスト高となることは勿論。図11に示す如く溶曲状のバンパレインフォースメント91が正面衝突荷重を受けると、ピン結合により各要素94、93を介してフロントサイドフレーム92、92に支持された上述のバンパレインフォースメント91における宣唱方向の両端部側は反方によって同図に仮想線で示す如く車両前後方向の前方へ持り、この前方への持りに起図して、ピン結合位置が車帽方向外方へ移動し、パイプ状のエネルギ吸収部材94が車外方向へ斜め状に倒れるためバイブ状のエネルギ吸収部材94のエネルギ吸収等性が不安定となる問題点があった。

[0005]

[発明が解決しようとする課題] この発明は、車体に支持された筒状の調整吸収部材と、車幅方向に延びるバンパ強度部材とを設け、このバンパ強度部材に設けた係合部が衝突時に衝撃吸収部材の外端部と係合するように構成することで、 筒状の管撃吸収部材の調整吸収ストロークを最大限に有効利用することができるのは勿論。この管撃吸収部材がバンパ強度部材端部側の独りの影響を受けることがなく、安定した衝撃吸収特性を確保することができる車両の端部車体構造の提供を目的とする。

【0006】との発明はまた、衝撃吸収部材をサイドフレームに支持させることで、管突時の襲撃を筒状の管撃 吸収部材の確実な整性カーリング変形により吸収することができる真両の蟾部車体構造の提供を目的とする。

【0007】この発明はさらに、バンバ強度部村を車体に取付けるバンバステーを設け、このバンバステーによるバンバ強度部村の車体に対する取付け位置と、上述の管整吸収部材の外端部が係合部と対向する位置とを、車幅方向の昭同位置に設定することで、衝突前重の入力時に関状の管撃吸収部材の外端部と係合部との位置ずれが生じにくく、両者(衝撃吸収部材と係合部)の良好な係合が得られ、管撃吸収部材による確実なエネルギ吸収が達成できる車両の端部車体構造の提供を目的とする。

[0009]

【課題を解決するための手段】この発明による車両の蟾 部車体構造は、車両の前部または後部に草幅方向に延び るパンパ強度部村を備えた車両の蟾部車体構造であっ て、車両前後方向の外方側に突出する際状の衝撃吸収部 50 材を設け、該衝撃吸収部村の草両前後方向の内方側折曲 け部を車体に支持し、上記衝撃吸収部村の車両前後方向 の外方に湾曲状のバンバ強度部材を設け、上記パンパ強 度部村には該バンパ強度部村が車両前後方向に変位する 首突時、上記演撃吸収部行の外端部と係合する係合部が 設けられたものである。

【0010】この発明の一実施療機においては、上記鏡 撃敗収部材が車両前後方向に延びるサイドフレームの外 蟾部に支持されたものである。

【①①11】この発明の一実施感様においては、上記バ ンパ強度部材を車体に取付けるバンパステーを設け、該 10 バンパステーによるバンパ強度部材の車体に対する取付 け位置と、上記演撃吸収部村の外端部が上記係合部と対 向する位置とを、草幅方向の脳同位置に設定したもので

【0012】この発明の一実施機様においては、上記筒 撃敗収部材を支持するバンパステーの上下両部には上記 バンパ強度部村に接合される接合部が設けられたもので ある。

[0013]

.... ...

....

.

....

てはその内方側折曲げ部が車体に支持された筒状の衝撃 吸収部材の先端と、バンバ強度部材に設けられた係合部 とは非係合状態であって、衝突時において始めて両者が 係合するので、筒状の管撃吸収部材の衝撃吸収ストロー クを最大限に有効利用することができるのは勿論。この 資整吸収部材がバンパ強度部材の總部側の焼りの影響を 受けず、該バンバ強度部計が車外方向に変形する壁念が ないので、安定した衝撃吸収特性を確保することができ

撃敗収部材をサイドフレームに支持させたので、この箇 状の衝撃吸収部村の内方側折曲げ部は車体剛性部村とし てのサイドフレームでバックアップされる。このため、 **資実時の資業を貸状の資整吸収部材の確実な変性カーリ** ング変形によって吸収することができる。

【0015】この発明の一実施療様によれば、上述のバ ンパ強度部材を車体に取付けるバンパステーを設けて、 このバンパステーによるバンパ強度部村の直体に対する 取付け位置と、上述の筒状の衝撃吸収部材の外端部がバ ンパ強度部材の係合部と対向する位置とを、車帽方向の 40 略同位置に設定したので、バンパ強度部材側の係合部の 位置がバンパステーにより規制され、とのため、衝突荷 重の入力時に筒状の筒撃吸収部材の外機部と係合部との 位置ずれが生じにくく、これら両者の良好な係合が得ら れて、衝撃吸収部材による確実なエネルギ吸収が達成で

【0016】との発明の一実施膨脹によれば、上述の管 撃敗収部材を支持するバンパステーの上下両部に、バン パ強度部材に接合する接合部を設けたので、筒状の衝撃

台部との草幅方向への位置ずれが生じにくく、上途の街 撃吸収部材によるより一層確実なエネルギ吸収特性を確 保することができる。

[0017]

【実施例】この発明の一実施例を以下図面に基づいて詳 述する。図面は車両の蝗部車体標準の一例として車両の 前部車体標造を示し、図1乃至図4において、車両の前 部には草幅方向に延びるバンパ強度部材としてのバンパ レインフォースメント1を設けている。

【0018】 このパンパレインフォースメント 1 は略コ 字状の新面形状を有し、図1に示す如く平面から見て草 両前後方向の前方へ突出するような湾曲状に構成されて いる。一方、車両前後方向に延びる左右一対の車体例性 部材としてとのプロントサイドフレーム2、2を設け、 これら各フロントサイドフレーム2、2の前邊閉口部に は、エンドブラケット3、3を接合固定している。

【0019】上途のエンドブラケット3は図2、図3、 図4に示す如く主面3aの中央部に開口部3bを有する と共に、主面3 aの4辺から後方に向けて一体に折曲げ 【作用】この発明によれば、箇突前のノーマル時におい。20 形成された合計4つの折曲げ片3c…を有し、これち4 つの新曲げ片3c…をフロントサイドフレーム2の前端 関口部に恣接手段にて接合固定したものである。

> 【0020】また上述のエンドプラケット3には予め彼 数のボルト4、4が溶接固定されており、これら各ボル ト4、4のネジ部は前方に向けて突設されている。一 方.上述のバンパレインフォースメント1を、エンドブ ラケット3を介して車体としてのフロントサイドフレー ム2に取付けるバンパステー5を設けている。

【0021】このバンパステー5はボルト4、4に対応 【0014】との発明の一実施感機によれば、上途の筒 30 する複数のボルト挿通孔5a, 5a(図4参照)を備えた 主面5 b と、この主面5 b の上下から車両前後方向の前 方へ延びる板状の接合部5 c. 5 c とを有して、断面脳 コ字状に形成されたものである。

> 【0022】上途のバンバステー5における主面5ヵの 中央部には後述するエネルギ吸収パイプを支持するため にリング状の支持部5 aが一体形成されると共に、上下 の接合部5 c、5 cには所定以上の荷重入力時に該接合 部5 c. 5 cを屈曲許容するビード5 e. 5 eを設けて

【0023】一方、筒状の衝撃吸収部村として荷重入力 時に塑性カーリング変形するエネルギ吸収パイプ6を設 け、とのエネルギ吸収パイプ6の後方側折曲け部6aを 上述のバンパステー5の主面5hの背面に溶接固定し て、パンパステー5とエネルギ吸収パイプ6とを一体化 すると共に、エネルギ吸収パイプ6それ自体はリング状 の支持部5 d内を通って車両前後方向の前方側に突出さ せている。

【0024】とのように、上述のエネルギ吸収パイプ6 が一体化されたバンパステー5の上下両部における接合 吸収部材の外端部と、パンパ強度部幷側に設けられた係 50 部5c.5cは図3に示す如くパンパレインフォースメ

ントトに溶接手段にて接合され、バンパレインフォース メント1はパンパステー5を介して、プロントサイドフ レーム2前端のエンドプラケット3に取付けられるが、 この場合、バンバレインフォースメント1に形成された 関口部la、laからナットランナ等の工具にて前述の 水ルト4、4にナット7、7を螺合する。

【0025】ととろで、上途のバンバレインフォースメ ント1におけるエネルギ吸収パイプ6と対向する部分に は車両の衝突時においてバンバレインフォースメント1 前端部と係合する係合部8が一体形成されている。この 実施例では上述の係合部8は車両後方側に窪む凹状に形 成され、筒突荷重の入力時に、この係合部8がバイブ6 内に係入するように模成されている。

【0026】上述の各要素つまりパンパレインフォース メント1、パンパステー5、エネルギ吸収パイプ6、エ ンドプラケット3、フロントサイドプレーム2が組付け られた状態下においては、エネルギ吸収パイプ6の草両 前後方向の前方に湾曲状のバンバレインフォースメント 1が位置し、このエネルギ吸収パイプ6の前端部と上述 20 の係合部8とは非係合状態(非結合状態)に設定されてい る.

【0027】さらに、上述のバンパステー5によるバン バレインフォースメント 1 の草体(フロントサイドフレ ーム2参照)に対する取付け位置と、エネルギ吸収パイ プ6の前端部が上述の係合部8と対向する位置とを草幅 方向の脳間位置に設定している。なお図2~図4におい ては車両の前部車体構造をその左側の構成についてのみ 示したが、古側は図2~図4の構成と左右対称に構成さ れている。

【①①28】とのように構成した草両の蟾部草体構造の 作用を以下に詳述する。 図2に示すノーマル状態(非衡 突状態)から車両が衝突し、バンパレインフォースメン ト」に前方から選突荷重が入力すると、このバンバレイ ンフォースメント」が後退し、このパンパレインフォー スメント1がある程度後退した時、図5に示すようにエ ネルギ吸収パイプ6の先端に係合部8が係入される。 【0029】次に図5に示す状態から図6に示す如く、

上述のエネルギ吸収パイプ6が塑性カーリング変形しな がら潰れて、衝突エネルギを吸収するが、この時、バン 40 パステー5 に設けたビード5 e により該バンパステー5 も屈曲し、しかも、エネルギ吸収パイプ6の先端にはバ ンパレインフォースメント1の係合部8が係入している ので、このエネルギ吸収パイプ6は左右方向、上下方向 に倒れることく円滑に塑性カーリング変形し、最終的に はパンパレインフォースメント!およびエネルギ吸収パ イブ6が完全に潰れる。

【0030】とのように図1~図6で示した実施例によ れば、衝突前のノーマル時においてはその内方側折曲げ 部6aが車体(フロントサイドフレーム2参照)に支持さ 50

れた筒状の筒部吸収部材(エネルギ吸収パイプ6参照)の 先端部と、バンバ強度部村(バンバレインフォースメン ト1参照)に設けられた係合部8とは非係合状態であっ て、脳突時において始めて両者6、8が係合するので、 筒状の衝撃吸収部材(エネルギ吸収パイプ6参照)の衝撃 吸収ストロークを最大限に有効利用することができる。 また従来例の如きビン結合によるものではないので、上 述の衝撃吸収ストロークを最大に有効利用することもで き、しかも、この衝撃吸収部材(エネルギ吸収パイプ6 が車両前後方向に変位する際、エネルギ吸収パイプ6の 10 参照)がパンパ強度郵付(パンパレインフォースメント 1 参照)の車帽方向両端部側の撓りの影響を受けず、管整 吸収部材(エネルギ吸収パイプ6参照)が草外方向へ変形 する懸念がないので、安定した筒撃吸収特性を確保する ことができる。そのうえ、構造の簡略化および低コスト 化を達成することができる。

> 【0031】また、上述の御撃吸収部村(エネルギ吸収 パイプ6参照)をサイドフレーム(フロントサイドフレー ム2参照)に支持させたので、この筒状の衝撃吸収部针 (エネルギ吸収パイプ6参照)の内方側折曲げ部6 a は草 体剛性部材としてのフロントサイドフレーム2でバック アップされる。このため、衝突時の衝撃を筒状の衝撃吸 収部村(エネルギ吸収パイプ8参照)の確実な塑性カーリ ング変形によって吸収することができる。

【0032】さらに、上述のバンバ強度部材(バンバレ インフォースメント!参照)を車体(プロントサイドフレ ーム2参照)に取付けるバンパステー5を設けて、この パンパステー5によるパンパ強度部科パンパレインプ ォースメント】参照)の草体に対する取付け位置と、上 述の筒状の管壁吸収部材(エネルギ吸収パイプ6参照)の 30 外端部がバンパ強度部材(バンパレインフォースメント 1参照)の係合部8と対向する位置とを、車帽方向の略 同位置に設定したので、パンパ強度部村(バンパレイン フォースメント | 参照/側の係合部8の位置がパンパス テーちにより規制され、このため、衝突荷重の入力時に 筒状の衝撃吸収部材(エネルギ吸収パイプ6参照)の外端 部と係合部8との位置ずれが生じにくく、これら両者 6、8の良好な係台が得られて、管撃敗収部材(エネル ギ吸収パイプ6参照)による確実なエネルギ吸収が達成

【0033】加えて、上途の衝撃吸収部材(エネルギ吸 収パイプ6参照)を支持するパンパステー5の上下両部 に、バンパ強度部材(バンパレインフォースメント1参 昭)に接合する接合部5 c. 5 cを設けたので、筒状の 答整吸収部材(エネルギ吸収パイプ6 参照)の外端部と、 パンパ強度部付(パンパレインフォースメント1参照)側 に設けられた係合部8との車幅方向への位置すれが生じ にくく、上述の衝撃吸収部村(エネルギ吸収パイプ6参 照)によるより一層確実なエネルギ吸収特性を確保する ことができる.

【0034】また実施例で示したように、バンパステー

5とエネルギ吸収部材6とを一体化すると、部品点数の 削減を図ることができる。さらに、上途のバンバステー 5にピード5e等の屈曲許容部を形成すると、このパン バステー5によりエネルギ吸収部材6の衝撃吸収効果が 阻害されない。

【0035】さらには、上途のバンバステー5を介して バンパレインフォースメント!を草体としてのフロント サイドフレーム2に連結させると、車体全体関性の向上 にバンパレインフォースメント1を寄与させることがで

【0036】図?は亘両の端部草体構造の他の実施例を 示し、この真態例ではエネルギ吸収パイプ6の先端部と 対応するバンパレインフォースメント1に、後方に向け て突出し、かつバイブ6内径よりもその外径が小径のリ ング状の係合部9を設けたものである。

【0037】との冥施例においてもノーマル時(非答案 時)にあっては係合部9とエネルギ吸収パイプ6の先端 部とは非係合状態に設定されており、バンパレインフォ ースメント 1 が車両前後方向に変位する衝突時に上述の 係合部9がエネルギ吸収パイプ6の先端部と係合するも 20 のである。

【0038】この図7に示す実施例においても、その他 の構成、作用、効果については先の実施例とほぼ同様で あるから、図?において前図と同一の部分には同一符号 を付して、その詳しい説明を省略する。

【0039】図8は車両の端部車体構造のさらに他の実 施門を示し、この実施例ではエネルギ吸収パイプ6の先 **蜷部と対応するバンパレインフォースメント1に、後方** に向けて突出し、かつパイプ6外径よりもその内径が大 部を荷重伝達部11に設定したものである。

【0040】との実施例においてもノーマル時(非衝突 時)にあっては係合部10、荷重伝達部11とエネルギ 吸収パイプ6の先端部とは非係合状態に設定されてお り、バンパレインフォースメント1が車両前後方向に変 位する筒突時に上述の係合部!()、荷重伝達部!||がエ ネルギ吸収パイプ6の先端部と係合するものである。

【①①41】この図8に示す真施例においても、その他 の構成、作用、効果については先の実施例とほぼ同様で あるから、図8において前図と同一の部分には同一符号 40 なく、金属製のバンパぞれ自体であってもよい。 を付して、その詳しい説明を省略する。

【0042】図9は車両の協部車体構造のさらに他の実 施例を示し、この冥施例ではエネルギ吸収パイプ6の先 蟾部と対応するバンバレインフォースメント1に、前方 に向けて突出し、かつバイブ6外国部に係合可能な凸状 の係合部12を設けたものである。

【0043】との実施例においてもノーマル時(非首突 時)にあっては係合部12とエネルギ吸収パイプ6の先 **巉部とは非係合状態に設定されており、バンバレインフ** ォースメント L が車両前後方向に変位する衝突時に上述 50

の係合部 1 2 がエネルギ吸収パイプ6 の先端部と係合す るものである。

【0044】この図9に示す実施例においても、その他 の構成、作用、効果については先の実態例とほぼ同様で あるから、図9において前図と同一の部分には同一符号 を付して、その詳しい説明を省略する。

【① 0.4.5】なお、以上の各実施例においては車両の總 部車体構造をプロントバンバ側の前部車体構造に適用し たが、この建部車体構造はリヤバンバ側の後部車体構造 16 にも適用できる。

【0046】すなわち、車両の後部に車幅方向に延びる バンバ強度部付(リヤバンパレインフォースメント参照) を備えた草両の後部草体構造において、草両前後方向の 後方側に突出する筒状の衝撃吸収部村くエネルギ吸収バ イブ参照)を設け、該衝撃吸収部村の草両前後方向の前 方側折曲け部を車体(リヤサイドフレーム参照)に支持 し、上記衡撃吸収部材の車両前後方向の後方に湾曲状の バンパ強度部付(リヤバンパレインフォースメント参照) を設け、上記パンパ強度部村には該バンパ強度部村が車 両前後方向に変位する貧突時(後突時). 上記貨撃吸収部 材の後端部と係合する係合部が設けられた草両の後部草 体構造と成してもよい。

【0047】との発明の構成と、上述の実施例との対応 において、この発明のバンバ強度部計は、真施例のバン パレインフォースメント(箱強部村)1 に対応し、以下同 機に、筒状の衝撃吸収部計は、塑性カーリング変形可能 なエネルギ吸収パイプ8に対応し、車体は、フロントサ イドフレーム2に対応し、係合部は、各係合部8、9, 10、12の何れかに対応し、サイドフレームは、フロ 径の環状ビード構造の係合部10を設け、環状ビード内 30 ントサイドフレーム2に対応するものであるが、この発 明は、上述の実施例の構成のみに限定されるものではな

> 【0048】例えば、上記実施例においてはエンドブラ ケット3に予めボルト4を溶接固定し、ナット7を用い てバンパステー5を取付けるように構成したが、この逆 の構成つまり、エンドブラケット3に予めナットを溶接 固定し、ボルトを用いてバンパステー5を取付けるよう に構成してもよい。また、上述のバンバ強度部村はレイ ンフォースメント(舗強部材)のみに限定されるものでは

[0049]

【発明の効果】欝状の貧怒吸収部材としてのエネルギ吸 収パイプ6の衝撃吸収ストロークを最大限に有効利用す るととができるのは勿論。このエネルギ吸収パイプ6が バンパ強度部付(パンパレインフォースメント1参照)の 車帽方向両端部側の鏡りの影響を受けることがなく、該 エネルギ吸収パイプ6による安定した演撃吸収特性を確 保することができる。

【図面の留草な説明】

【図1】 本発明の車両の端部車体構造を示す概略平面

図.

【図2】 図1の要部の拡大断面図。

【図3】 図2の側面図。

[図4] 要部の分解斜視図。

【図5】 係合部と貨撃吸収部材先端との係合状態を示 ず平面図。

【図6】 首撃吸収部材の塑性カーンリング変形を示す 平面図。

【図?】 本発明の車両の端部車体構造の他の実施例を 示す平面図。

【図8】 本発明の車両の機部車体構造のさらに他の実 施例を示す平面図。

【図9】 本発明の車両の端部車体構造のさらに他の実業

* 施例を示す平面図。

【図10】 従来の車両の端部車体構造を示す断面図。

【図11】 従来の車両の端部車体構造を示す機略平面 図.

【符号の説明】

1…バンパレインフォースメント(パンパ強度部材)

2…フロントサイドフレーム(車体)

5…パンパステー

5 c…接合部

10 6…エネルギ吸収パイプ(筒撃吸収部材)

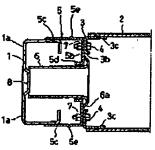
6 a …折曲け部

8、9,10、12…係合部

[図1]

[図2]

[図3]



キー オッパいシフォースメント ネー フロントサイドフレーム 5ーパンペステー

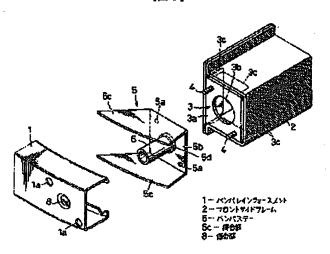
1m バンベレインフォースメット、6m エネルギ吸収されて

· ለህብብንታተንደቀት ··· ንጨትማያለንሁተል

6 -- エネル中吸収パイプ 6a・ 新曲が第 9 -- 保含語

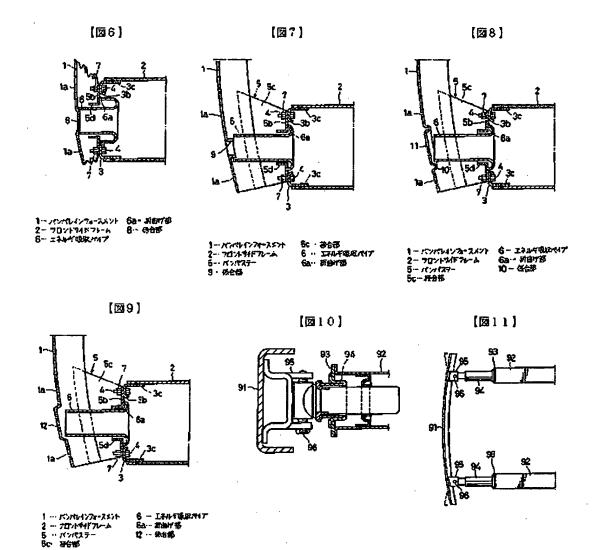
【図4】

【図5】



1 - パンパインファースメント 2 -- 7012479477V-A 5 -- 1024557-

エネルギの吹けげ 河田竹野 - 保合郡



HIS PAGE BLANK (USPTO)